



どんどん将棋が面白くなっていく!

みんなの将棋。

Let's Enjoy!



将棋の「西の聖地」関西将棋会館の移転を控え、「将棋のまち」として盛り上がりを見せる高槻市。今号の特集は、将棋をよく知り指せる人はもちろん、あまりルールがわからない人でも楽しむことができる将棋のあれこれを紹介。小さな子どもからベテランまで…みんなの将棋です。

将棋を指せなくても楽しめます

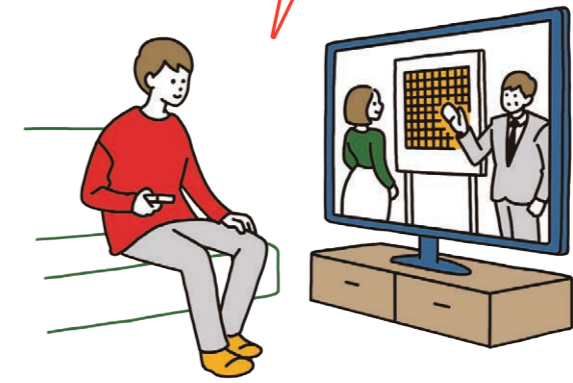
観る将・読む将・描く将のススメ。

ライブも楽しめる

TV番組

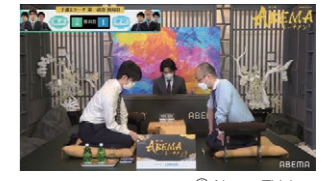
『将棋フォーカス』

サバナ・高橋茂雄さんが司会をつとめるNHK Eテレの将棋エンターテインメント番組。“初心者も楽しめる将棋番組”を謳い、「今日の特集」、「NO将棋 NO LIFE」などで構成。



『ABEMA 将棋チャンネル』

インターネットテレビ・ABEMAの将棋専門チャンネル。24時間無料で、タイトル戦の生中継などを配信してくれるので、“観る将”にとってはいつでも楽しめる番組。



©AbemaTV, Inc.

将棋の世界を知る 小説・漫画

『ぼくらに嘘がひとつだけ』 綾崎隼・著/文藝春秋刊

落ちこぼれ女流棋士の息子と、代々棋士の家系に育つエリート。棋士を目指す2人の天才少年が、出生時に取り違えられていた可能性に気づき…。ミステリーの要素も含み、女流棋士界のことも興味深く知ることができる小説。



『覇王の譜』 橋本長道・著/新潮社刊

元奨励会会員で将棋を深く知る著者だからこそ書けた将棋エンターテインメント。一人の青年棋士が、挫折を味わい、人間関係にも悩みながら成長していく様がリアルに描かれています。福島区にある現関西将棋会館の描写も興味深い。

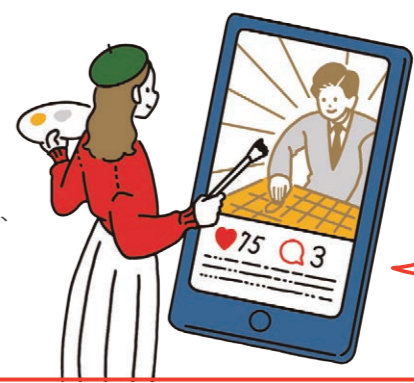


『将棋の渡辺くん』 伊奈めぐみ・著/講談社刊

永世竜王・永世棋王の資格を持つ名棋士・渡辺明氏の妻による漫画。タイトル戦など勝負の世界に挑む氏と家族の日々を、ぬいぐるみ好きなどかわいらしい一面も紹介しながらユーモラスに描きます。棋士への親近感が増すこと間違いなし。



棋士の似顔絵などを描く「描く将」を楽しむ人も増えています。「棋士の方は、みなさん表情が個性的。対局中の真剣な表情もいいですし、ふだんの笑顔を想像しながら描くのも楽しい」と高槻在住の加藤瞳さん。



将棋 イラスト の楽しみ方

新春

高槻将棋カルタ。

さまざまな楽しみ方で将棋にふれている市民のみなさんに、将棋の魅力を聞いてみました。

こ 駒をもらって
目指せ
プロ棋士!



き 90歳になるけれど
いつまでも
将棋を楽しみたい。



り 旅行中も、
酒飲みながらも
将棋指し。



お 親子でも、
指すときには
真剣勝負。



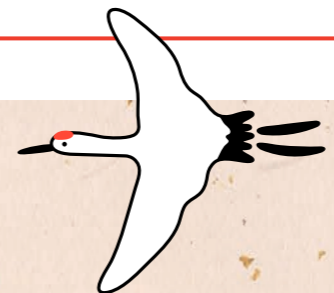
か 会館が高槻に
できるのが
待ち遠しい。



ま 負けることが
将棋に強くなる
第一歩。



い いろいろな場面に
出会えるのが
将棋の醍醐味。



こ 市内の小学校に通う旬汰くんと遥ちゃん。
旬汰くんは学童保育で、遥ちゃんはおばあちゃんちで将棋にふれ、学校で駒をもらいさらに興味が。「家族みんなで将棋をやれるのが楽しい」と遥ちゃん。「駒をもらったので、もっと将棋をやりたい」と旬汰くん。

き 氷室町にお住いの天野義忠さんは、週2回、クロスバル高槻で将棋を楽しみます。「一番面白いのは、相手がどう考えているのかを読むこと。自分の都合だけじゃダメ。みんなと将棋を指したりおしゃべりするの、もう生きがいになってますね。」

り 天川新町在住の本間好喜さんは、会社勤めをしていたとき、将棋好きの先輩と毎日のように将棋を指していたそう。「旅行に行っても、酒を飲みながらも将棋ばかりしていました。今年は高槻の将棋人口が増えたらいいなあと思っています」。

お 大手町在住、小学1年生の村上悠太くと亜由美さん親子。「子ども達ができるなら私もやってみよう」と漫画でルールを覚えた亜由美さん。でも悠太くんは、お母さん相手じゃ物足りなくなり、最近将棋教室に通い始めたそうです。

か 道鶴町にお住いの田澤正一さんは、定年後に将棋を始めました。「負けても苦じゃないよ。相手を喜ばせて人のためになるからね。高槻市が一生懸命将棋の普及に取り組んでいるのがいい。関西将棋会館ができるので長生きをしないとね」。

ま 小学4年生の帆夏ちゃんは、保育所に通っていたときに、友達と将棋を楽しむようになったそうです。「負けるのももちろん悔しいけど、そこからがんばって強くなって勝つとうれしいです」と対局の面白さに夢中です。

い 高槻市立第六中学校将棋部の元部長・大野力駆くん(左)と現副部長・磯和聖唯摩くん(右)。共に小学生から将棋を始め、「対局することに異なる場面向き合えるのが楽しい」と大野くん。「将棋はやるのがいろいろあって奥深いです」と磯和くん。

棋士に指導を受けて 楽しむ中学生

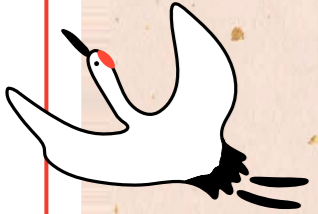


高槻市立第六中学校には将棋部があり、週に3~4日放課後に部活動をしています。月に1回は、棋士・東和男八段の指導を受けて、「生徒が車座になって、先生に同時対局していただいて、とても勉強になります」と部長の川村純平くん。放課後の教室に心地いい駒の音が響いていました。

市内の小学生に 将棋駒をプレゼント!



高槻市では令和4年11月から順次、市内の小学1年生全員に将棋の駒を配布しています。これは市内面積の43.9%を占める森林の間伐材でつくられたもの。この駒を使って、森林の大切さや日本古来の文化への理解を深めるための棋士による出前授業が各小学校で行われていて、高槻市出身の棋士・古森悠太五段などが講師をつとめています。



摂津峡 花の里温泉 山水館を訪れました。

前回は藤井聡太さんの王将位奪取で盛り上がった王将戦。次回は摂津峡の「山水館」で開催されます。



摂津峡を望む露天風呂。渡辺明名人も「温泉も良く、好きな対局場です」とツイート。



藤井聡太王将に羽生善治九段が挑戦することになり、俄然注目の令和5年の王将戦ですが、山水館での第2局は、1月21日(土)・22日(日)に行われます。豊かな自然に囲まれた静かなロケーションは棋士からも人気が高く、館内には、棋士たちの書や写真を飾るコーナーも設置。5回目の王将戦を迎え入れる旅館は、ファンが訪れたい将棋の聖地の一つになりつつあります。

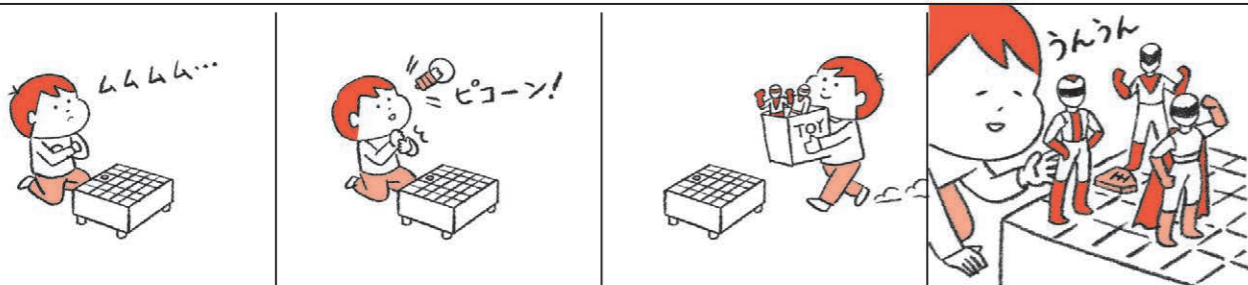
※対局日に対局場所である山水館への立ち入りはできません。



王将戦の対局が行われる「単月の間」。普段部屋貸しはせず対局時の状態を維持しています。宿泊や食事利用客は見学も可。(状況により案内できない場合もあります)



たかつきぐらし vol.6 鉄壁の守り



渡辺明王将(当時・左)に挑戦をし、第2局も勝利した藤井聡太竜王(右)

令和4年1月に開催の第71期王将戦の様



山水館へ至る道にはのほりも立てられ、歓迎ムードに。



生涯学習センターでは、棋士による解説でライブ観戦をしました。



小学生を対象にした「高槻こども王将戦」も開催。

最新情報！ 高槻に移転する関西将棋会館



令和6年にJR高槻駅西口前に移転予定の関西将棋会館の設計プランが発表されました。図のように、緑が多く自然光が入る会館になりそう。将棋のまち高槻の新たなランドマークに。

- ① 西日本の将棋の聖地を体現した外観デザイン。
- ② 対局室から眺められる「内なる庭」を設置予定。
- ③ 対局ができる将棋道場。
- ④ 純和風の対局室。

写真提供：(公社)日本将棋連盟 ※パースはイメージです。

